

第 21 回 YGN 若手勉強会

電力システムの概要とカーボンニュートラルに向けた課題

主催： 日本原子力学会 若手連絡会

来る 9 月 18 日、日本原子力学会 若手連絡会 (YGN) は、原子力学会主催である未来像検討 WG との共催で、「電力システムの概要とカーボンニュートラルに向けた課題」と題する勉強会を開催致します。

近年、日本政府は、再生可能エネルギー (再エネ) の「主力電源化」を掲げています。2020 年 10 月の菅総理による「2050 年カーボンニュートラル」宣言を受けて、この流れはさらに強まることが予想されます。しかしながら、再エネの導入量が大きくなるにつれて、電圧安定性や周波数安定性といった、電力の安定供給を維持する機能が低下する可能性も指摘されています。また、脱炭素社会の実現に向けて、再エネの大量導入を前提としつつも、安定供給の確保という観点から、原子力発電の価値を再考すべき、との議論も聞かれます。

本勉強会では、再エネ大量導入時の電力システムについて理解を深めるため、電力システムシステム設計に長年携わっておられる多田泰之氏を講師としてお招きし、予見される課題や、安定供給の確保のために必要となる施策についてご講演頂きます。また本勉強会では講演内容や、参加者の方々の日ごろの関心事項について、その場でのご質問/事前アンケートを元に議論する総合討論の時間を設けます。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

- 記 -

- 【日時】 2021 年 9 月 18 日 (土) 13:00~14:30
- 【場所】 オンライン (ZOOM: お申込み後にアクセス情報をお送りいたします。)
- 【講師】 多田泰之 (日立製作所、サービス&プラットフォームビジネスユニット
制御プラットフォーム統括本部 エネルギーソリューション本部
電力システム研究部 所属)
- 1981 年埼玉県立川越工業高校卒業。同年 4 月東京電力 (株) 入社。同社社内組織である東電学園大学部を 1988 年 3 月に卒業。1989 年 4 月から 1 年間文部省受託研究員として、東京大学関根・横山研究室に在籍。1998 年

3月東京大学学位（博士）受領。主に同社技術開発研究所にて電力系統解析技術の研究に従事。2013年9月より現職。現在、電力系統運用にオンライン最適化技術を利用した送電損失低減によるCO2削減技術のNEDO実証に従事。

関連リンク（研究者紹介、関連事業）

<https://jp.linkedin.com/in/yasuyuki-tada-3621031b4>

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2021/01/0112.html>

（関連資料）

多田泰之、斎藤有香、末永晋也、岡本佳久

[日立評論「動的に変化し続ける電力システムの創造」](#)

【参加費】

無料

【対象】

原則として、原子力・放射線分野に従事する39歳以下の若手・学生が対象です。日本原子力学会の会員でない方でもご参加いただけます。

【定員】

80名程度（会員優先、先着順）

【プログラム】

13:00～13:15 開会、イントロダクション(YGN 村上洋平)

13:15～13:55 講演

「電力システムの概要とカーボンニュートラルに向けた課題」（日立製作所 多田泰之氏）

13:55～14:25 質疑、総合討論

14:25～14:30 閉会

【申込】

9月15日（水）17時までに以下のサイトよりお申込ください。

お申込みフォームサイト：<https://forms.office.com/r/PGGVaieBy5>

*アクセス不可の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】若手連絡会事務局

川合 康太（三菱総合研究所）：kota_kawai@mri.co.jp

【備考】

◆YGN若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」*を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。

*チャタム・ハウス・ルール：「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。

国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

◆本イベントへご参加いただいた皆様に、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内など）のメールマガジンを配信させていただきます。

<若手連絡会>

日本原子力学会 若手連絡会は、原子力に携わる若手世代間の連携を強めることで、若手が本来持つ活力を引き出し、その専門性や能力を高める活動を行っています。この活動を通して、原子力全体の活性化を図り、原子力技術の発展、原子力に関する諸問題の解決、そのために必要となる新たな若手の育成に貢献することを目的としています。原子力の専門性を活かし、国・機関を超えた若手の連携によって社会へ貢献すべく、ネットワークの拡充強化を図っていきます。

ホームページ：<http://www.aesj-ygn.org/>

<YGN 若手勉強会>

日常業務に捉われない自己研鑽、分野や所属を超えた繋がり創出のため、2016 年 10 月より継続的に開催しております。

第 1 回	「もんじゅを見つめ直す」	2016 年	10 月
第 2 回	「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」	2017 年	2 月
第 3 回	「原子力の将来とイノベーション」	2017 年	4 月
第 4 回	「次世代小型モジュラー炉：シンプルで安全、そして経済的な選択肢」	2017 年	10 月
第 5 回	「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」	2017 年	11 月
第 6 回	「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」	2018 年	2 月
第 7 回	「原子力プラント建設の技術継承」	2018 年	5 月
第 8 回	「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国 70 年の苦闘』」	2018 年	7 月
第 9 回	「国際協力・海外進出の現状と今後」	2018 年	12 月
第 10 回	「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」	2019 年	1 月
第 11 回	「原子力プラント建設の技術継承②」	2019 年	5 月
第 12 回	「原子力防災に携わる。一現場から研究室、そして現場へ」	2019 年	9 月
第 13 回	「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」	2019 年	11 月
第 14 回	「宇宙探査における原子力利用」	2020 年	9 月
第 15 回	「高速炉サイクル若手座談会～高速炉サイクルは何処へ～」	2020 年	12 月
第 16 回	「気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」	2021 年	1 月
第 17 回	「核融合の早期実現という破壊的イノベーション」	2021 年	6 月
第 18 回	「2030 年温室効果ガス 46%削減目標の達成は可能か？」	2021 年	6 月
第 19 回	「メディアを知る」	2021 年	6 月
第 20 回	「OECD/NEA で働く若手日本人職員に聞く。」	2021 年	8 月

以上